

G20 観光大臣会合実行委員会 幹事会 議事録

2019年4月17日(水) 11:00~11:30
北海道庁本庁舎 3階 テレビ会議室
後志総合振興局 2階 テレビ会議室

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- 本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。ただいまから、G20 観光大臣会合実行委員会 幹事会を開催いたします。私は、本日進行させていただきます G20 観光大臣会合実行委員会事務局の中島でございます。よろしくお願いいたします。まず、開催に当たりまして、幹事長である北海道総合政策部長の小野塚からご挨拶を申し上げます。

(北海道：小野塚総合政策部長)

- 皆さんこんにちは、北海道総合政策部長の小野塚でございます。本日は年度初めのお忙しいところ、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。
- 昨年10月末に、実行委員会総会を開きまして、そこからこれまでの間、主催者であります観光庁から、今年10月に行われます大臣会合の日程や高級実務者級の準備会合を5月に開催することなどが示されるとともに、実行委員会として、事業計画に基づきます四つの柱、「開催支援」「気運醸成」「おもてなし」「地域 PR」といった事項に係る取組を検討しまして、一部につきましては実施も行ってきているところでございます。
- 本日は、そうした状況について皆様にご報告させていただきますほか、実行委員会による今後の具体的な取組につきまして、事務局からお示し、ご意見等をいただきたいと思っております。
- 私ども、道としましても、実行委員会の事務局となります道の組織を、この4月1日付けで拡充をいたしまして、残り6ヶ月となった会合の開催に向けて、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。
- 皆様には、このオール北海道の実行委員会が中心となって、気運の醸成を一層図っていくこと、そして、各国の皆様をおもてなしの心で歓迎し、本道の魅力を広く国内外に発信していくことができますよう、特段のご協力をお願い申し上げまして、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- なお、本日の会議の進め方でございますが、札幌と後志の2会場をテレビ会議システムでつなぎまして進めてまいります。ご発言の方は、マイクのスイッチを入れてお話しをいただき、お話しが終わったらスイッチを切っていただけたらと思います。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず議題の1番目、G20 観光大臣会合につきまして、事務局からご説明申し上げます。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：早川次長)

- G20 観光大臣会合実行委員会事務局次長の早川と申します。よろしくお願いいたします。私から、G20 観光大臣会合について、資料1に基づき、ご説明申し上げます。
- G20 観光大臣会合につきましては、本年10月25日(金)、26日(土)にニセコ HANAZONO リゾートで開催されることとなっており、人数規模は150から200名程度の参加が見込まれております。主な日程となりますが、10月25日(金)の日中に、事務局による高級実務者級会合が行われまして、夕方から本実行委員会主催による「地元歓迎レセプション」をニセコヒルトンビレッジで開催したいと考えてお

ります。また、26日（土）には、大臣会合が行われることとなっており、夕方に政府主催レセプションの開催が予定されております。翌27日（日）は、地元主催のイベントとして、エクスカーショ、交流事業などを企画して参りたいと考えているところです。

- 次に、点線の囲みの部分となりますが、10月の大臣会合に先立ち、各国担当者が集まり意見交換等を行う高級実務者級会合が5月24日（金）にニセコ HANAZONO リゾートのゴルフクラブハウスにおいて開催されます。人数規模60名程度、参加クラスとして事務次官級を想定しており、これは場合によっては、本国課長級、駐日大使館等となる場合がありますが、こうした方々の参加のもと行われることとなっております。主な日程ですが、まず5月23日（木）の18時30分から本実行委員会主催による「地元歓迎レセプション」をスカイニセコで開催したいと考えております。そして、翌24日（金）の午前中に高級実務者級会合が行われます。その後、14時から、観光庁、倶知安町及び本実行委員会の主催により、公開シンポジウムを開催することとしており、夕方には政府主催レセプションの開催が予定されております。また、翌25日（土）には、10月大臣会合の会場を視察し、帰路につかれる予定となっております。
- 終わりに、ただ今、ご説明申し上げたとおり、10月の大臣会合及び5月の高級実務者級会合では、「おもてなし」や「地元PR」などを行う場として、それぞれ実行委員会主催の地元歓迎レセプションを行う予定としているところですが、開催が近づきましたら、実行委員会委員の皆様にご案状を送付させていただきますので、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。
- また、5月24日（金）の公開シンポジウムについてですが、今回、参考資料1としてチラシを添付しております。実行委員会メンバーの皆様には、既に、開催のご案内をメールで行っているところですが、持続可能な観光をテーマに、基調講演やパネルディスカッションなどを行う予定としております。お申し込みは5月8日（水）までとなっておりますので、皆様にも是非ご参加いただきますとともに、多くの皆様にご参加いただけるよう、幅広い周知についてご協力をお願いいたします。以上でございます。

（G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長）

- ただいまの説明にご質問などはございませんでしょうか。

－特に発言なし－

（G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長）

- 続きまして、議題2「G20 観光大臣会合に向けた主な取組」につきまして、事務局からご説明いたします。

（G20 観光大臣会合実行委員会事務局：大須賀次長）

- この4月より担当となりました大須賀と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、私のほうから、資料2に基づきまして、G20 観光大臣会合開催に向けた主な取組について、説明させていただきます。
- 一番上の囲みにありますように、実行委員会が主催する事業のほか、大臣会合の開催とあわせて企業や団体が実施する様々な事業、これらを連携事業と呼んでおりますが、G20 観光大臣会合推進事業に位置付けまして、オール北海道で取組を展開してまいります。この資料の中では、これまでに行ったもの、また、実施が決まったものについてご紹介させていただきます。柱立ては、先ほど紹介ありましたように、4本の柱になっております。
- まず、一番目の気運醸成からご紹介させていただきます。会合の開催を幅広く道民に周知し、開催気運の盛り上げを図ることになりまして、まず一番目、ウェルカムキャッチフレーズを決定しております。昨年12月から1月まで募集し、583作品の応募がありまして、2月に選考しております。「ようこそ北海道・倶知安へ ここから始まる観光の未来」をキャッチフレーズとして使わせていただくこととしております。続きまして、告知用ポスターですが、先ほどのキャッチフレーズも盛り込みまして、当初1,000枚、さらに1,000枚増刷し

まして、道内各地、倶知安町周辺等の各施設に掲示させていただいております。

- 2ページをご覧ください。横断幕、懸垂幕等でのPRです。道庁本庁舎、倶知安町役場、後志総合振興局、倶知安駅に掲出しております。一番右下ですが、新千歳空港ターミナルビルのバナーについては、4月27日（土）から貼り出す予定としております。
- 3ページをご覧ください。「みんなに伝えたい北海道の魅力発信 G20 観光大臣会合写真コンテスト」ということで、主催は、G20MTM 学生サポーターズの皆さんと実行委員会の共催という形で実施しているところです。参考資料2をご覧ください。5月10日（金）まで募集しております。現像写真部門とInstagram部門と2部門ございます。皆様におかれましても、ぜひ応募いただき、周りの方に周知いただきまして、数多くの方の写真を応募いただければと思います。続きまして、歓迎用ポスターは、この写真コンテストで募集しました写真を活用させていただきまして、作成する予定としております。その下のカウンタダウンモニュメントの設置についてですが、こちらはサッポロビール様の協賛ということで、新千歳空港のターミナルビルに設置する予定としております。設置は5月中旬を予定しております。シンポジウムについては、先ほども紹介がありましたが、5月24日（金）に、観光庁、倶知安町、実行委員会の主催で倶知安町公民館において開催いたします。登壇者も既に決定しております。ロス・フィンドレー氏、山田圭一郎氏、シャノン・ストーウェル氏といった観光に精通された方々に出席いただきまして開催するシンポジウムです。こちらの出席につきましても、よろしく願いいたします。
- 4ページですが、G20MTM 学生サポーターズの皆様と共催させていただきます、学生サミットということで、道内の大学生150名程度に集まらせていただきまして、観光で地域は変わるというテーマのもとにグループディスカッションですとか、講演会を聞いていただいて、観光について学んでいただいて発信していただくというようなことを考えております。その下からは、連携事業になります。G20 中心街活性化プロジェクトということで、倶知安町の中心街飲食店舗を紹介するガイド冊子にG20に関する情報を掲載させていただいております。続きまして、その下、しりべし i ネットでのカウンタダウンPR、一般社団法人しりべしツーリズムサポート様のホームページにG20開催までのカウンタダウンがされているところです。その下、知産志食しりべしスタンプラリー-2019ということで、こちらは小樽商工会議所様の主催で、後志管内全20市町村を結んだスタンプラリーを4月末から実施する予定となっております。
- 5ページになりますが、会合で来道する各国の大臣等をオール北海道で歓迎するというので、一つ目、G20 観光大臣会合高級実務者級会合にあわせた地元歓迎レセプションを開催予定です。大臣会合の前日である5月23日（木）にスカイニセコで開催いたします。その下、G20 観光大臣会合の本会合のほうのレセプションになります。こちらが会合の前日10月25日（金）にヒルトンニセコビレッジで開催する予定としております。その下ですが、高級実務者級会合、大臣会合に来道される各国の皆様にご記念品を贈呈すること考えております。
- 次に6ページになります。こちらは地域PRになります。プレスツアーはJNTOが主催するファミトリップとの連携ということで、大臣会合の翌日10月27日（日）から29日（火）まで、海外からいらしてのメディアの方々を対象としまして後志管内ほかでツアーを実施することとしております。また、情報PRブースの設置ということで、高級実務者級会合と観光大臣会合の会場やシンポジウム会場などで、北海道観光振興機構様のご協力をいただきまして、北海道の観光の魅力発信を会場にて行いたいと考えております。一番下になります。食のPRイベント、まるしえ20ですが、こちらも北海道観光振興機構様のご協力をいただきまして、9月中旬から道内特産品の販売とシェフによる料理の提供ということで、食のイベントを倶知安町において3回に分けて実施することを考えております。
- 7ページになります。四つ目の柱、開催支援になります。会合開催に係る受入体制の整備を行うとともに、会合の円滑な開催を支援してまいります。一つ目、インバウンド需要促進事業ということで、こちらは連携事業になりますが、ジェットロ北海道様の主催におきまして、2月5日（火）から8日（金）に実施していただきました。写真にもありますが、HANAZONO リゾートですとか、NIKI Hills などを見て、食を味わっていただ

くということで、G20 観光大臣会合を行う後志管内を P R させていただいたところです。そして、G20 観光大臣会合実行委員会のホームページを開設しておりまして、これまで行ってきました連携事業ですとか、今後開催する予定の事業などについて、ご紹介させていただいているところです。一番下になりますが、その他、大臣会合の詳細が明らかになった段階で、エクスカージョンですとか地元交流事業などについて実施を検討してまいります。また、今後も実行委員会主催事業に対するご協力や、気運醸成に向けた P R の実施など連携事業の実施について、皆様のご協力もぜひお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- 最後に今まで紹介したものをスケジュール表としてつけておりますので、こちらも参考にいただければと思います。以上です。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- ただいまの説明にご質問などはございませんでしょうか。

－特に発言なし－

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- 事務局で用意した議事は以上でございますが、この機会に何かご発言がございましたらお願いします。

－北海道観光振興機構 挙手－

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- 北海道観光振興機構様、どうぞ。

(北海道観光振興機構：鶴蒔事業部長)

- 北海道観光振興機構の鶴蒔と申します。本日は、事務局長の佐藤が急用のため代理で出席いたしました。
- 今回の観光大臣会合は、洞爺湖サミット以来の大型国際会議の北海道開催であり、各国のオピニオンリーダーである閣僚の方々などへの働きかけによりまして、北海道観光の知名度向上、あるいは外国人観光客の誘客に大きな弾みが付くことが期待できることから、観光振興機構としては、最大限実行委員会の一員として、協力していきたいと考えております。
- まず、5月の準備会合に間に合うように、現在、当日流せる動画集、DVDになりますが、こちらの作成を進めているところでありまして、また、先ほどご紹介がありました情報 P R ブースにおいても、道庁の観光局様や北海道運輸局様と連携しながら主体的に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様、よろしくお願いいたします。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- ありがとうございます。ほかにご発言はございませんでしょうか。

－倶知安町 挙手－

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- 倶知安町様、どうぞ。

(倶知安町、倶知安 G20 観光大臣会合推進町民会議事務局：土井室長)

- 倶知安町役場の G20 担当、町民会議の事務局次長の土井と申します。私のほうから、まずは、高級実務者級会合の地元レセプション会場につきまして、本町においては、大人数を収容できる会場に限られる中、倶知安町にありますホテルを使っただけということ、ご配慮いただきありがとうございました。地元として感謝申し上げます。また、新年度の予算として、実行委員会への負担金について、要求どおり予算は可決されておりまして、現在、実行委員会への支払いについての事務を進めているところでございます。
- 倶知安町といたしましても、新年度の 4 月から町職員が 1 名増員されておりまして、北海道からの派遣 1 名、北洋銀行からの派遣 1 名と合わせまして専任 3 名体制で、現在、取組を進めているところです。
- 町民会議といたしましては、4 月 8 日（月）の観光大臣会合開催 200 日前にあたる節目に、カウントダウンボードを掲示させていただきました。
- 来週には、町内の小中学生を G20 の応援隊ということで任命式を行って、子どもたちを中心に事業を進めていきたいと考えているところです。
- また、5 月の高級実務者級会合におきましては、参加者の皆様はもちろん、随行者、報道関係の皆様にも記念品を渡す予定で準備をすすめております。
- 午後の国際シンポジウムにおきましては、会場となる公民館周辺において、子どもたちによる清掃活動を行ったり、地中で保管していた雪を使いまして、町のシンボルである雪だるまを作って、参加者の方に見ていただけるようにしたいと考えております。
- また、先ほど申し上げたカウントダウンボードについては、高校生がデザインしたものであり、せっかくの機会でございますので、公民館の入り口に置くなどいたしまして、町民会議らしい温かいおもてなしをできるようにしたいと考えております。
- 本日、お集まりいただきました実行委員会構成員の皆様におかれましては、レセプション運営ですとか、広域的な部分での P R について、今後ともよろしく願いたいと思います。本日はありがとうございました。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- ありがとうございます。他にご発言はございませんでしょうか。

－発言なし－

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局：中島事務局長)

- 以上をもちまして、「G20 観光大臣会合実行委員会 幹事会」を閉会いたします。本日は、大変ありがとうございました。